

秋田市郊外部での不採算バス路線の取扱いについて

1 バス路線維持方策の検討経緯

- (1) 平成12年度より交通局の38路線を秋田中央交通(株)へ移管
- (2) 平成16年 1 月15日秋田中央交通(株)から、不採算路線の維持方策について要望書提出
- (3) (2)の要望書を受けて庁内でバス路線を維持する方策を検討し、平成17年 2 月にとりまとめ

2 公共交通に関する市の維持方策

- (1) 平成17年度に市単独補助制度を創設
- (2) 不採算路線の郊外部に代替交通手段を導入 (15路線 3 および 4 参照)
- (3) バス事業者へ路線再編やダイヤ改正等の抜本的な見直しを促す
- (4) 地域の協力および主体的な取り組みを前提とした移動手手段の確保

3 地域別の取り組みについて

- (1) 西部地域 (豊岩線、下浜線、浜田線)
 - 平成15年度に利用実態調査を実施
 - 平成17年10月より、委託運行 (マイタウン・バス西部線) を導入
 - 平成18年 2 月に第 1 回秋田市マイタウン・バス西部線運行協議会を開催 (平成17年度利用実態の報告)
 - 平成19年 3 月に第 2 回秋田市マイタウン・バス西部線運行協議会を開催 (平成18年度利用実態の報告、今後の利用促進策の検討)
- (2) 北部地域 (堀内線、下新城線、小友線、上新城線)
 - 平成16年度に利用実態調査を実施
 - 平成18年10～11月に、利用実態調査の結果について説明会を 4 回実施
 - 平成19年 2 ～ 3 月に、国土交通省東北運輸局と秋田市が共同して追加アンケートを実施
 - 平成19年 3 月に、第 1 回秋田市北部地区公共交通研究会を開催
 - 平成19年 9 月に、東北運輸局と秋田市が共同して実証実験を実施
 - 実証実験の結果を踏まえ、代替交通手段を導入 (予定)
- (3) 南部地域 (岩見三内線、雄和線、雄和循環線)
 - 平成18年度に利用実態調査を実施
 - 実態調査を検証のうえ、北部地域の取り組みを踏まえつつ、運行形態を検討

(4) 東部地域(下北手線、上北手線、木曾石線、仁別線、太平線)

平成17年度に利用実態調査を実施

実態調査を検証のうえ、北部地域の取り組みを踏まえつつ、運行形態を検討

4 年度別の取り組みについて

年 度	平成17年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
代替交通 予定路線	豊岩線 下浜線 浜田線 (西部)	堀内線 小友線 下新城線 上新城線 (北部)	雄和線 岩見三内線 ユーグル (南部)	下北手線 上北手線 木曾石線 仁別線 太平線 (東部)